



赤嶺 雅和 議員

# 待機児童の解消は

答 新たな認可保育園の施設整備を前倒しで行う

**問** 待機児童は何人か。待機児童解消はいつごろまでに可能か。

**副町長** 4月入所に係る待機児童は、3月8日現在で259人、昨年と比べて87人の増となっている。町では平成29年度末までに待機児童を解消する計画で進めている。しかし、想定より0歳から5歳の人口が増えていることから、計画を変更し施設整備等を追加することで解消に努める。

**問** 具体的にどう解決するか。

**民生部長** 子ども・子育て会議で新たな施設整備等を追加した。計画の変更として60人規模の保育園を当初1カ所の予定を3カ所に増やす。小規模保育は次年度2カ所追加し、増築も追加する。既存の認可保育園の定数増、定員増も図る。認定こども園の議論を平成28年度から進めていくことを計画に盛り込み待機児童解消に努める。



平成28年度こいのぼり掲揚式の様子

地域限定保育士の現状は

**問** 地域限定保育士の受験生は何人か。

**副町長** 受験者は523人で合格者は78名、合格率は約15%となっている。市町村別の受験者はデータがないので把握していない。

**問** 地域限定保育士制度で保育士不足は解消できるか。

**副町長** 保育士資格の試験が追加され保育士が78人増えた。保育士不足に一定の効果はあると思う。保育士の確保は各市町村でも喫緊の課題である。町では保育士等の給与補助を2000円増額し、平成28年度から月額5000円として予算計上をしている。

こどもの貧困問題について

**問** 沖縄県は全国一貧困率が高いといわれているが、本町はどう把握しているか。

**民生部長** 本町の子どもの貧困率は把握できていない。数値に囚われず本当に支援が必要なお子どもたちに寄り添って支援する。